

マタイ 5 : 11-16

5:11 わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせる
とき、あなたがたは幸いです。

5:12 喜びなさい。喜びおどきなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。あなたがたより
前にいた預言者たちを、人々はそのように迫害したのです。

5:13 あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでし
ょう。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。

5:14 あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。

5:15 また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そう
すれば、家にいる人々全部を照らします。

5:16 このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、
天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

はじめに

引き続き、聖餐式を与る第一日曜日はマタイの福音書のシリーズです。

今日の個所では、イエスが信徒の迫害について一般論を語っておられたところから、弟子たちに
向けた具体的な発言へと移ります。

11-16 節では、イエスは弟子たちに直接語っておられます。

11-12 節で、イエスは 10 節の内容を繰り返されます。ですから、今朝のメッセージの前半は、前
回のメッセージと似た内容です。しかしイエスはこの個所で、弟子たちが未来に遭遇する事柄を
想定して教えておられるので、もう少し具体的な内容となります。

ではまず、皆さんにお尋ねします。

これは、私が英国で牧会していた教会のユダヤ人信徒が尋ねた質問です。

その女性はこう言いました。「なぜユダヤ人は、世界の歴史上もっとも迫害を受けた国民なので
すか。」

彼女はそう尋ね、第二次世界大戦中の大量虐殺をはじめ、使徒の働きから現代にいたるま
でユダヤ人が迫害されてきた歴史を挙げました。

このユダヤ人女性に私が唯一与えられた答えは、聖書のみことばからでした。

申命記 7 : 6-8

7:6 あなたは、あなたの神、【主】の聖なる民だからである。あなたの神、【主】は、地の面のす
べての国々の民のうちから、あなたを選んでご自分の宝の民とされた。7:7 【主】があなたがたを
恋慕って、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの民よりも数が多かったからではない。
事実、あなたがたは、すべての国々の民のうちで最も数が少なかった。7:8 しかし、【主】があな
たがたを愛されたから、また、あなたがたの先祖たちに誓われた誓いを守られたから、【主】は、
力強い御手をもってあなたがたを連れ出し、奴隷の家から、エジプトの王パロの手からあなたを
贖い出された。

イザヤ書 43:10 あなたがたはわたしの証人、—【主】の御告げ—わたしが選んだわたしのしもべで
ある。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。
わたしより先に造られた神はなく、わたしより後にもない。

現在、イスラエルは世界に対して 3 つのかたちで証となっています。

1. ユダヤ人は、神ご自身の存在を証する証人である。
2. ユダヤ人は、聖書の真理を証する証人である。

3. ユダヤ人は、いつの日かイエス・キリストがこの地上に戻ってこられることを証する証人である。

そして、これはユダヤ人にとって大きな犠牲を意味しますが、いつの日か、私たちがイエスとお会いするとき、その犠牲は報われます。私はこのように説明しました。

その女性が納得したかどうかはわかりませんが、いつか必ず納得してくれるでしょう。

さて、ユダヤ人を除けば、現在、世界でもっとも迫害を受けているのは誰でしょう。

一言で言えば、イエス・キリストの証人たちです。

使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

イエスは、初代の弟子たちをご自身の証人として送り出されました。そして、聖霊による力が良い証人とならせてくださると約束されました。

テモテ第二 3 : 12

3:12 確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。

今日の個所の学びを始める前に、迫害について語られた 4 つの言葉を紹介します。

「迫害は、キリスト教が本物であることを示す確かなしるしである。」ベンジャミン・フェルナンド

「苦しむ教会こそ、成長している教会である。」ジャック・デイン

「迫害はたいいてい、終わりの時に完成されることを今なす。つまり、麦と毒麦を選り分けるのである。」ジェームス・ミルナー

「キリストの旗印を掲げれば、キリストの受けた恥も受けるだろう。迫害は、もっともわかりやすい救いの証拠である。」ジョン・マッカーサー

今日の個所を学ぶ上で、今日の個所にあるイエスの教えが人間の考えとは正反対のものであることに気づかなければなりません。

イエスは、マタイ 5 : 3-10 の教えに従うなら、迫害される、と言っておられるわけです。

これはおかしくありませんか。敬虔に生きることで、私たちは人から敬意ではなく迫害を受けるのでしょうか。

けれども、私たちは知っておくべきです。神ははるかに大きな全体像を描いておられます。神の知恵はこの世の知恵とは違うのです。

コリント第一 1 : 20

1:20 知者はどこにいるのですか。学者はどこにいるのですか。この世の議論家はどこにいるのですか。神は、この世の知恵を愚かなものにされたではありませんか。

11-12 節は、ふたつのことを教えてくれます。

1. 未来の迫害について、イエスはあらかじめ知っておられた。(11 節)

イエスは、弟子たちの身に将来起こることについて語っておられます。

そして、イエスに従うなら迫害を受けるとおっしゃいます。

イエスがここで挙げられた迫害は、根拠のない非難です。

人々は、私たちが陥れるためにうそをつくようになります。

このような迫害は、イエスご自身も経験されました。

イエスはその公生涯で、幾度となく言葉の暴力を振るわれました。中でも、とくに十字架にかけられる前にそうでした。

マタイ 11 : 19 では、大食いで大酒飲みだと責められています。

信仰や信仰に基づく行動が原因で私たちが非難をされたなら、実際にはその非難はイエスご自身に向けられたものです。

私たちはイエス・キリストの使節として、今この世で主の働きをなしているからです。

イエスはすべてをご存知です。そして、ここで私たちを支え励ましてくださいます。

2. イエスのために迫害された人々には報いがある。(12 節)

その報いは、この地上では与えられません。これは、未来に受ける報いです。

私たちは、天国での報いについて具体的なことはわかりませんが、天国に行けるだけで私にとってはじゅうぶんです。

病気や老いと無関係の新しい永遠の体をいただいて、罪や悪魔のいない場所に住めること自体が、何よりの報いです。

イエスさま、あなたとあなたの十字架の御業を信じた人のために天国に居場所を備えてくださってありがとうございます。

あなたが私の代わりに死んでくださったこと、私の罪を負ってくださったことをありがとうございます。

あなたの恵みが十分であることを感謝します。

では、イエスが弟子たちの将来について語られた 12-16 節へと進みます。

この個所で、イエスは弟子たちが頑張って地域の塩や光になりなさいと言っておられるのはありません。そうではなく、弟子たちがマタイ 5 : 3-10 の教えに従うなら、彼らがおかれた地域で塩となり光となる、と言っておられるのです。

ここでイエスが使われたふたつのたとえを理解するのが大切です。これらをひとつずつ見ていきましょう。

このふたつのたとえの要点は、弟子たちがこれから訪れる地や出会う人々に役立つ影響をもたらす者となることです。

これは、現代の私たちの課題でもあります。

1. 弟子たちは、しっかりと塩気のある塩でなければならない。(13 節)

私の英国の故郷の近くに、小さな海辺の町があります。そこは、「バッドリー・ソルターン」という町です。もとは、「バッドリー・ソルト・タウン」でした。

町の名の由来は、昔、塩が貴重だった時代に、この町を流れるオッター川の河口近くで塩を取ることができたからです。

英国では、海辺の町はたいていその町を流れる川の名がそのまま町の名になっています。けれども、この町は例外です。川よりも塩のほうが貴重だったからです。

イエスがこの言葉を語られた時代も、塩はたいへん貴重なものでした。

ローマ人は、塩を太陽の次に貴いものと言ったほどです。

ローマ兵の給与は塩で支払われることがよくありました。

現代の英国でも、あの人は地の塩だ、という表現を使うことがあります。

それは、あの人は素晴らしい人だという意味です。

イエスの言葉を聞いた弟子たちは、塩のたとえの意味をちゃんと理解していました。

「塩」の特性から、イエスのみそばを歩むよう私たちを促す 5 つの事柄を学べます。

① 塩は白い。

これは、生活をきよめるという課題です。イエスのために役立つ者となるためには、きよさは欠かせません。

② 塩は塩気がある。

私たちクリスチャンの生き方は、プラスの影響を与えるものであるべきです。食べ物にたとえるなら、私たちはうまみがあるべきです。私たちの生き方は、悪い行いで人を嫌な気持ちにさせるものであってはいけません。むしろ、魅力的であるべきです。

③ 塩はしみる。

傷に塩を塗るとヒリヒリします。本物のキリスト教の教えや生き方は、この世にとってある意味「ヒリヒリするもの」です。

教会は、世間の人々を喜ばせて引き寄せようとするあまり、人の気に障らないように福音をちゃんと伝えないことがあります。

福音のメッセージも福音に根差した生き方も、必ず人を不快にさせます。

現代社会では、キリスト教が一神教であり、イエスが天国への唯一の道であるというメッセージは、人に嫌がられます。

④ 塩は渴きを起こさせる。

ヨーロッパの高級なバーやクラブに行くと、おつまみに塩味のピーナツが出されます。無料で塩味のピーナツをもらえるのはうれしいのですが、そこには理由があります。喉が渴いた客がすぐにお代わりを注文するよう仕向けるためです。私たちがイエスとともに歩んでいるなら、人は私たちの生き方や言葉に引き寄せられるか避けるかのどちらかになります。

ある人にとっては、私たちの生き方が、その信仰や平安、将来天国に行けるという確信を自分もほしいと「渴き」を起こさせるものになり得ます。

⑤ 塩は、保存料の役割を果たす。

大昔には、冷蔵庫も冷凍庫もありませんでした。もしかしたら、冷蔵庫が家になくて涼しい場所に食糧を保管した時代を覚えている人もここにいるかもしれません。

そんな時代、塩は保存料として用いられました。とくに、塩には肉の腐敗を遅らせる特性があります。それで、一定期間、新鮮さを保つことができます。

クリスチャンがこの世を完全な崩壊から守っていることに疑いの余地はありません。すべてのクリスチャンが天に引き上げられるまで、私たちはこの世に対して大きな影響を与えることができるのです。

歴史の専門家たちは、18世紀の英国で起こったリバイバルが、国を革命から救ったと言います。正確な歴史の記録はうそをつきません。

私たちも、イエスとその教えに従って生きるなら、地の塩になります。

2. 弟子たちは、世にとって力強い光でなければならない。(14節)

塩と光には違いがあります。塩は見えない一方で、光は一目瞭然です。

つまり、塩は人知れず効力を発揮し、光の効果は明らかです。

塩は内側の働きであるのに対し、光は外側に向けた働きです。

塩も光もどちらも大切ですが、その働きは異なります。

塩は、福音の間接的な恩恵であり、光は福音を直接的に伝えることです。

塩は、私たちの生き方をおとして働き、光は、私たちの語り教えることをおとして働きます。

塩は、腐敗の過程を遅らせてくれますが、腐敗そのものを変えることはできません。

一方、光はとても積極的に働きます。誤りや偽りをあらわにし、真実で正しいものを生み出す助けをします。

イエスがはっきり認識しておられたとおり、私にもはっきりわかることは、このふたつは切り離せないということです。

私たちは、塩と光の両方になる必要があります。

私たちが地の塩であっても光でなければ、ポジティブなクリスチャン生活を送れるでしょうが、他の人の人生を変えることはないでしょう。

私たち信徒の持つ光とは、神ご自身とそのみことばである聖書です。

ダビデは詩篇 36 : 9 で「いのちの泉はあなたにあり、私たちは、あなたの光のうちに光を見るからです。」と言いました。

光はその性質上、周りを照らすためには見えなくてはなりません。

ですから、私たちは神のみことばを隠すことはできないのです。私たちがそれをオープンにし、語り、教え、守り、愛する必要があります。

3. 弟子たちは、生き方においても人への証においても新鮮さを保たなければならない。

死海の塩など、イスラエルの塩の中には、石膏などのミネラル成分の混入によって塩気がなく不味いものがあります。

見た目は塩のようですが、塩味がしません。

そのような塩が手に入っても、人々はそれを使わずに、泥道に捨てました。

つまり、ここで教えられるのは、塩が塩気をなくすのではなく、異物の混入があるということです。

イエスはここで、イエスの弟子として役に立たなくなることについて語っておられます。

罪やこの世に対する執着が私たちの人生に混入すると、私たちは汚されます。

ヤコブ 4 : 3-4

4:3 願っても受けられないのは、自分の快樂のために使おうとして、悪い動機で願うからです。

4:4 貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。

世の友になりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。

最後に、光が役立てられるためには、力の源が必要です。

家電量販店に行けば、天井に取り付ける大きな照明やベッドの近くに置ける小さな常夜灯などが買えます。

けれども、このような照明器具は、コンセントを差し込むか電池を取り付けなければなりません。

同様に、私たちクリスチャンにも神の聖霊が必要です。私たちが神のみことばの光を輝かせられるようにしてくれるのは、聖霊です。そして、神の光を周囲の人に示せるようにしてくれるのも、聖霊です。聖霊は、私たちの生き方の動力源です。

私たちに必要なのは、神の聖霊の力です。この力によって、私たちはイエスのように生きることができます。そうすれば、私たちは、塩や光のように、イエスのために役立つ証人となります。

私たちが日々、聖霊の満たしを神に求めていきますように。